

2021/10/11

一般社団法人 日本スタンドアップパドルボード協会



S U P 事故の未然防止に関する注意喚起につきまして

SUPA 会員の皆さまへ

平素は、(一社) 日本スタンドアップパドルボード協会 (SUPA) 活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策につきまして、皆さまの真摯なるご協力に対しまして深く御礼申し上げます。また、この新型コロナウイルス感染症の影響により、長期にわたる医療関係者の皆さまのご苦勞に対しまして、心より感謝と敬意を申し上げます。

新型コロナウイルス蔓延の影響からアウトドアスポーツ志向が高まり、SUP を始める人も年々増加傾向にあります。それに伴い SUP による事故件数も年々増加している現状です。

事故に繋がる大きな要因

気象、海象に関する知識不足、技能不足、装備などの準備不足、法令の認知不足などが考えられます。

例えば、

風の吹く方向を把握せず強風下や波が高い状況下で出艇し帰還不能になる。離岸流など流れが速い中に出艇し帰還不能になるなどが考えられます。

安全管理に関する装備や行動指針

SUP を行うときは**ライフジャケット着用やリーシュコード装着は必須**です(SUP サーフィンを除く)。特に初心者や若年者、高齢者の方々には**固型式ベスト型**で浮力が十分に確保できるタイプを推奨します。膨張式ライフジャケットに関しては操作方法の理解と定期的な点検(使用後の洗浄による動作部の塩による固着チェック、ガスカートリッジの交換)を欠かさないよう心がけてください。

万が一に備え携帯電話を防水ケースに入れ準備し、ホイッスルなどの警告装置を備えましょう。

水上では周囲(船舶等)から**わかりやすい視認性の高い服装**などを着用してください。水上では船舶同様、常に周囲に対しての見張り義務が課されます。寝転んだりせず、座って休む際にも見張りを忘れないよう行動してください。

各地の法令を遵守し、港湾、漁港、漁場には無闇に近づかない事。船舶往来が多い場所や航路を止むを得ず通過するときは、船舶の往来を妨げず、速やかに通過するなど細心の注意を払う事が必要です。

安全に楽しく SUP ライフを送るため、その場所のルールや地形、海象を知る情報収集のためにも、各地域で活動されているショップやそのフィールドに詳しい識者の方と関わりを持つこともお勧めいたします。

また、その他の SUP 安全管理に関する周知事項は、海上保安庁の HP でも公開しております。気象情報などの最新情報の入手も可能ですので、是非出廷前にご確認頂くことを推奨いたします。

<海上保安庁公式 HP>

<https://www.kaiho.mlit.go.jp/doc/tel118.html>

<海上保安庁 海の安全情報>

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/>

<海上保安庁 **Water Safety Guide**>

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/watersafety/sup/index.html>

※ 最新の事故発生情報なども掲載

あきらかに初心者と思われる人や、SUP のことを理解していないかな？と感じる方がその場にいた時は**積極的にお声がけ**をしていただき、SUP 事故未然防止のため、皆様にご協力をいただけますよう宜しくお願い致します。

一般社団法人日本スタンドアップパドルボード協会
安全管理部会 部会長 南里 尚志